

[重点事項別国費の状況]

[単位：億円]

	19年度	前年度
・国際競争力の強化		
空港・港湾へのアクセス道路の整備	1,920	1,720
・地域の自立と競争力強化		
高規格幹線道路の整備	9,217	7,597
三大都市圏環状道路整備	2,346	1,897
交通円滑化事業	5,476	4,663
・安全・安心の確保		
緊急輸送道路等の橋梁の耐震補強	687	619
交通事故対策の重点的实施	1,526	1,122
踏切道対策	2,316	2,014
うち連続立体交差事業	1,138	948
・豊かな生活環境の創造		
市街地の歩行空間のバリアフリー化	3,938	3,571
道路関係予算 合計	33,068	29,832

- <注> 1. 上表は重点事項を計上したものであり、かつ、計数には一部重複等があるため、各計数の和は合計と一致しない
 2. 高規格幹線道路の整備及び三大都市圏環状道路整備の前年度の計数には、平成18年度供用区間を含まない

第2 社会資本整備重点計画に即して行う5箇年間の道路整備

平成15年度以降5箇年間の道路の整備に関する事業の量

(単位：億円)

	15年度以降 5箇年間の 事業量	18年度 当初まで の累計額	19年度 要求額	19年度末 累計額
道路投資額	380,000	269,800 (71.0%)	67,697	337,497 (88.8%)

<注>

- 平成18年度当初までの累計額は、15年度・16年度・17年度最終、18年度当初の合計である
- カッコ書きは「15年度以降5箇年間の事業量」に対する割合である
- 道路投資額には道路整備特別会計で実施した事業及び道路特定財源を活用した関連施策として一般会計で実施した事業を計上。ただし、本州四国連絡高速道路株式会社から一般会計に承継した債務の処理は含まない
- 18年度当初までの累計額、19年度要求額には、道整備交付金を含まない
- 四捨五入の関係で、各計数の和が合計と一致しないことがある